

71の

6

2004
NO.605

やさしい明かりに包まれて

全国一斉に電気を消し、いつもと違った夜を楽しむ「ライトダウンキャンペーン」に参加しようと、根雨6区にこにこ子ども会が廃油キャンドルづくりに挑戦しました。
(関連記事 14 ページ)

市町村合併に結論

まちは

白単
立独

の道を選ぶ。

単独決定の経過報告

江府町とこれまで進めてきた合併協議は、6月4日に開かれた第12回合併協議会で両町が「協議会廃止に関する確認書」を交わし、同日両町で臨時議会が開かれ、合併協議会の廃止を議決。6月10日、合併協議会は廃止になりました。このため、日野町は「単独」の道歩むことになりました。これまでの経過を報告します。(5ページまで)

歩み

平成 15 年 7 月 1 日
合併協議会設立準備会を江府町に設置
8 月 1 日
合併協議会事務局を江府町に設置
8 月 3 日 第 1 回協議会
平成 17 年 3 月を合併目標にする
8 月 28 日 第 2 回協議会
協定項目や調整方法など協議。住民アンケート実施を提案
10 月 1 日 第 3 回協議会
住民アンケート実施を決める
10 月 29 日 第 4 回協議会
条例・規則等の取扱い、慣行の取扱いなどについて協議
11 月 14 日
第 1 回新町まちづくり会議が開かれる
11 月 26 日 第 5 回協議会
住民アンケート結果公表
12 月 17 日 第 6 回協議会
介護保険事業について協議
12 月 24 日 新町事務所位置検討小委員会
本庁舎の位置議論は平行線
平成 16 年 1 月 20 日
新町名を公募する
1 月 27 日 第 7 回協議会
広報関係、電算関係など協議
2 月 25 日 第 8 回協議会
地方税、一般職の身分の取扱いなど協議
2 月 26 日
出前説明会始まる
3 月 16 日 第 9 回協議会
財産、使用料・手数料取扱いを協議。新町財政計画中間報告、出前説明会の状況報告
3 月 23 日
江府町住民団体が住民投票を求め、署名(2,232 人分)を提出
3 月 25 日 第 10 回協議会
医療対策事業の取扱いなど協議
4 月 28 日 第 11 回協議会
江府町住民投票の結果が判明するまで、協議会開催を延期。事実上協議会を中断
5 月 23 日
江府町住民投票で反対意見が 7 割超える
6 月 4 日 第 12 回協議会
両町が解散に関する確認書に調印。同日、両町の議会で協議会廃止を議決
6 月 10 日
協議会解散。同職員派遣を解除

日野町・江府町合併協議会廃止 委員からは「残念だ」のひとこと

合併協議会の廃止決定
合併問題に終止符「単独」

日野町・江府町合併協議会が、6 月 4 日、江府町山村開発センターで、第 12 回協議会を開き、6 月 10 日付で合併協議会を廃止することを両町が了承しました。

協議会終了後には、両町が臨時議会を開き、日野町では合併協議会の廃止について全

会一致で議決。平成 15 年 8 月に設置した合併協議会は約 10 か月で廃止になり、日野町と

江府町が進めてきた 2 町合併に終止符が打たれました。

日南町は早くから単独を決め、溝口町は岸本町との合併を推進。このため日野町は

「単独」の道を選ぶことになり、梅林町長は「非常に残念に思う。自立に向け、行政改革を図りながら新しいまちづ

くりを進めていきたい」と決意を新たにしました。

江府町の住民投票

約 4 分の 3 が合併に反対

第 12 回合併協議会は、5 月

23 日、江府町で行われた「日野町との合併を問う住民投票」の結果を受けて開かれま

した。住民投票の結果は、合併に

江府町住民投票の結果 (5 / 23)

当日有権者数	3,285 人
投票総数	2,694 人
投票率	82.01%
有効投票数	2,660 票
無効投票数	34 票
合併に賛成の票数	643 票
合併に反対の票数	2,017 票

反対意見が全体投票数の約 4 分の 3。福田江府町長は住民投票の結果を「住民の意思を尊重し、単独の道を選びたい。日野町の皆さんには大変申し

訳ない」とその意向を報告、合併協議会の離脱を表明しました。

日野町の委員から「合併に向けての今までの取り組みは何だったのか。江府町側の住民説明が欠けていたのではないかと意見が出ると、江府町から反論する場面もありました。

出席した両町の委員たちは、それぞれ「残念のひとつ」「むなししい気持ちでいっぱいだ」「この経験を通して、まちづくりに生かしていきたい」などと感想を話しました。

次ページに続く

事務所位置など 両町の意見は平行線をたどる

合併協議会廃止の理由

両町で交わされた協議会廃止に関する確認書には、廃止の理由（以下略して掲載）について「平成17年3月合併を目標に、住民参画によるまちづくり会議を開くなど積極的に進めてきたが、協定項目の内、事務所位置に関しては、小委員会において、両町の意見が平行線をたどり、今年2月以降、小委員会も開かれていない」など問題となった経過が説明してあります。

また「江府町の住民団体から合併の意思を問う住民投票の要望により、5月23日に住民投票を実施。投票の結果を



最後となった第12回協議会



合併協議会委員（事務所位置小委員会）
細田耕治（根雨）

もっと本音を出し合えば解決できる問題もあったので残念。これから両町とも財政面で厳しくなると思いますが、互いに良いまちになるよう、この教訓を生かさなければなりません。

もっと本音を出し合えば

受け、江府町議会でも単独存続の方針を確認」と廃止の理由が書かれています。
理由書の最後には「同じ郡内のまちとして、引き続き協力の体制のもと、住民サービスの維持、向上に努めていきたい」とあり、「両町長が確認書を互いに交わし、今後の両町の協力体制についても確認し合いました。」

6月10日に協議会廃止
約10か月で幕を閉じる

合併協議会での廃案に関する了承、両議会での廃止議決

で、昨年8月に立ち上げられた「日野町・江府町合併協議会」は6月10日に廃止。これまで約10か月の間、両町を対象にした全世帯アンケートの実施や新町名称の募集、各種合併協定項目の検討（25項目のうち14項目について確認済みまたは提案中）など11回にわたって開かれてきた合併協議会の廃止届と合併重点支援地域の解除願いを県に提出しました。

これにより、同事務局に派遣されていた職員（日野町2人、江府町2人、県1人）の派遣は解除されました。



開票される江府町住民投票。反対が多数

民意を反映し「単独決定」予想どおりの結果に

日野町と江府町の2町合併の結果は、江府町住民投票の結果がすべてでした。

結果については、こうなってしまうのではないかとこの感じが事前に漂い「わざわざ財政難のまちといっしょになっても」「何もかも日野町側になんて納得できない」などの声もありました。

投票を呼び掛ける運動はありましたが、推進派、反対派の対立のない静かな投票は、合併への不信感が振り払われ、ことなく、予想された結果になってしまいました。

江府町と比べ

日野町はそんなに財政難なのか

単年度決算の試算

両町とも17年度から赤字

日野町は、江府町と比べてそんなに財政難なのか。と疑問が持たれますが、合併協議会が作成した両町がそれぞれ単独だった場合の一般会計財政推計を見ると、単年度決算では、日野町は平成17年度決算時から収支が赤字で、平成29年度から黒字に転じる試算。江府町は、同じく平成17年から赤字。それ以降継続して収支が赤字になっていくという数字が出ています。

まちの貯蓄ともいえる基金は、日野町が平成19年度時点で赤字。江府町は平成21年から赤字に転じるという結果が出ています。ただし、これらの数字は、平成17年度以降、普通建設事業費は0円、節減努力は一切見込まないなどあくまでも試算されたものです。また、まちの借金ともいえる地方債の現在高は、平成14年度決算時で日野町が61億1024万3千円、江府町が67億394万5千円という数字

も出ています。

日野町は庁舎建設など公共施設や生活基盤の整備などのハード事業はほぼ完了しており、将来の事業費を含めて考えると、「日野町は江府町に比べて財政状況が悪い」とは決して言えないと思われます。

しかし、単独存続が決まり、これまで以上に気を引き締めて財政改革に取り組んでいかなければならないことには変わりありません。

今年度（平成16年度）の当初予算（広報4月号で紹介）は、単独存続でも対応できるよう編成してありますが、梅林町長は「存続に向け、さらなる事業の見直しで経費削減を図りたい。このため、住民の皆さんには負担をお願いすることになる」と話しています。

存続に向けて

自立政策推進本部を設置

まちは、単独存続に向けて助役を本部長とする「自立政策推進本部」を6月11日、役場内に設置しました。

まちの明日を考える

自立政策推進本部設置で改革を

推進本部は、活気に満ちた魅力あるまちづくりを進めるにあたり、明確な改革方針を示した現行の「行政改革大綱」を抜本的に見直し、今後10年間の方針を示す「自立政策推進大綱」を作成。また「まちづくり推進プラン」の策定についても進めていきます。

推進本部員は総務課長、企画振興課長、議会事務局長と、同本部設置にともない企画振興課内に置かれた自立政策推進室（室長「後藤一則」、主幹「埜川和之」、兼務として企画振興課長補佐松村謙、総務課主幹生田哲二）の職員4人で構成します。

また、総務部門、福祉・教育部門、産業部門の3部門で構成する「まちづくり推進委員会」を設けます。

この委員会は、各専門分野の事務事業の評価、行財政改革やまちづくり推進プランの素案を作成。また、住民参画による「（仮）まちづくり委員会」を立ち上げ、広く意見を集約していきます。

議長 自立に向けて 町長

存続に向け

まずは機構改革を

単独が決まり、厳しい財政状況の中で存続に向け、まずは機構改革に着手し、「自立政策推進本部」を設置。今までも行財政改革をしながら町政を進めてきましたが、さらなる改革を行っていきます。財政の確保という面では、

あらゆる事業を総点検し経費削減に努めていかなければなりません。しかし、事業がまったくのゼロではまちづくりは進みません。

今のまちにとって緊急な課題のものとそうでないものを選び、効率化を図りたい。そのためにも住民の皆さんのご意見、「要望をお聞かせください。

全職員一丸となって町政を進めていきますので、よろしくお願いたします。



日野町長 梅林 豊

単独存続が決まり、町長、議長に今後の方針について考えを聞く。



日野町議会議長 佐々木秀明

自分たちに
何ができるのか

議員定数や報酬なども含め、議会そのもののあり方について慎重に審議していきたいと思えます。議員一人ひとりの意識向上を図り、自覚を持ってこれまで以上に取り組んでいきます。また、まちの方針についても、正しく反映されているのか厳しく検証していきます。

これまで進めてきた合併調整の中で、今のまちの姿というものが明確になりました。費やした労力、議論を無駄にせず、この経験を糧に新しいまちづくりを住民全員で進めていきましょう。住民の皆さんも行政に対して関心を持ち「自分たちに何ができるのか」真剣に考え、いただきたいと思えます。

聞く

インタビュー

新院長に

日野病院

6月1日、日野病院の新院長に堀江裕病院長の後任として、浜副隆一さんが就任されました。少子高齢化が進む中、日野病院はまちの医療拠点として期待されています。そこで、これからの日野病院の将来像と目指す地域医療などについて浜副隆一院長に話を聞きました。

良質の医療を提供 信頼され、親しまれる病院に

6月1日、日野病院長に就任しました。日野町には、8年前から力ヌーを始めたこともあり何回も来ているので身近に感じます。ここに就任したことも何かの縁かもしれません。日野川のせせらぎの音を聞きながら、心地よく仕事ができる喜んでいきます。

私

私が医師を目指したのは、小さい時の掛り付け外科医の先生が大好きで、あこがれて外科医を目指しました。学生時代から医者が少ない地域で診療したいと思っていました。

私は、人の命を預かる医師

として、「一人ひとりが真剣勝負」という気持ちをもつて続けていきます。

病

院は、どこにあっても良質の医療が提供できなければなりません。しかし、ほつとも患者が来る都市部の病院と少子高齢化が進む地域の病院とは違う面もあります。

その地域の事情に合わせた独自の医療サービスを提供できる「住民主体の保健・医療・福祉が融合した総合サービス拠点」として日野病院は責任を果たさなければならぬと思います。

病院は、決して院長だけがつくりあげるものではありません。住民と病院とがともに連携を図りながら築いていくものだと思います。これから

も住民の皆さんから信頼され、親しまれる病院を目指します。住民の皆さんが何を求めているのか。積極的に地域に

でかけ、その声を聞きたいと思えます。また、病院は単なる医療するところではありません、健康づくり講演会などを開き、健康について知識を深めていただき「健康なまち」にしていきたい。医療費負担減はまちにとって経費削減につながると思います。

経

営面にも力を入れていきます。この病院は少子高齢化の進む厳しい環境の中にありますが、住民の皆さんからこの病院を選んでいただければ「稼働率が上がり、良質の医療が提供でき、経営も安定」と、良い循環が生まれてくると思います。

経営は数字で評価されませんが、数字に表れてこないところも大切です。まちに病院があるという安心感はお金では買えません。病院がなければ安心して暮らすこともできないでしょう。

そついう意味でも「病院が

あるまち」の存在感を出していきたいと思えます。

今

後、訪問医療など積極的療に取り組んでいきたいです。やはり在宅介護は究極のホスピタル（緩和ケア）。しかし、それは家族や地域の受け皿があつてこそのもので、地域全体で支え合う心が大切です。これから地域の受け皿など環境整備にも力を入れていきたいです。皆さんから信頼される病院を目指しスタッフ一丸となつてがんばります。

はま ぞえ りゅう いち
浜副隆一
Ryuichi Hamazoe

昭和25年生まれ54歳。昭和50年鳥取大学医学部医学部医学科卒。平成7年に博愛病院外科部長に就任、平成8年から同病院の副院長に。米国ウィスコンシン大学移植外科臨床研究員として留学経験を持つ。趣味は、スキーやジョギングなど。なかでも力ヌーは8年前から始め、年間30回は日野町に通う。日野病院 電話 0859-72-0351

病院と住民の皆さんの
連携を図りたい
病院に対するご要望をお聞かせください。

病院長
浜副 隆一



環境が変わる。
高速通信で変わる。

ADSL

加入希望者募集中

まちでは、進む情報化に対応し、高速通信網の整備を図ろうと、NTT西日本の高速データ送信技術「ADSL」を導入に向けて準備を進めています。このADSLのサービスエリア（範囲）になるには「初年度に200件以上の加入希望者が必要」という条件があります。

現在、ADSLサービス開始に向けて加入希望者を募集しています。

町内でもすでに職場や家庭でインターネットの普及が進み、多くの人が利用しています。

しかし、町内で使われているインターネットは、通信速度が遅く、大容量のデータ送受信や動画などを見ようとするとかかなりの時間がかかります。

現在、インターネットをはじめ世界の情報技術は急速に進んでいます。まちでは、住民の皆さんがこれらの技術を活用して豊かな生活が出来るよう高速通信網の整備に取り組み、NTT西日本が提供している高速通信「ADSL」の導入を検討しました。

ADSLのサービス提供エリア（範囲）になると、現在のインター

ネット環境がより快適になります。このサービスは、加入希望者が200件（開始年度）以上集まると、サービス開始のための準備に取りかかります。

今回のサービスエリアは、NTT回線の都合により、一部地域を除く根雨・日野地区（左ページのエリア図参照）で、通信速度は最大12Mbpsです。

開始時期は、加入希望者数がそろってから約5か月程度かかるため、今年の11月ごろの開始を目指しています。

現在、まちではADSLのサービス開始に向けて加入希望者を募集しています。インターネット加入の方、これから始めようと思っている方など多くの方の申込みをお待ちしています。



【ADSL】

動画や音楽など大容量のデータ送受信など高速通信が可能になる通信方式。アナログモデム（33.6kbps）、ISDN回線（64kbps）に比べると飛躍的にスピードアップ（日野町では最大12Mbps）。



2 M以上が期待（根雨、三谷、野田、下本郷など）

1 ～ 2 Mが期待（舟場、高尾の一部、安原、上本郷など）

0.5 ～ 1 Mが期待（貝原、津地、下榎、榎市、別所など）

0.5 M以下もしくは提供できない（小原など）

提供できない（黒坂交換局、高尾、金持、板井原、濁谷、秋縄、門谷、三土など）

サービス範囲



ADSLサービスを提供できない地域

各家庭から電話交換局との電話線の状況により、黒坂交換局（黒坂地区全域）金持RTエリア（高尾の一部、金持、板井原、濁谷、秋縄、門谷、三土）は、今回はサービスエリア外になります。また、サービス提供エリア内でも、諸条件により回線速度が確保できない場合や接続ができない場合があります。詳しくは、役場企画振興課まで問合せください。

【(仮)申し込み先・問合せ先】

役場企画振興課 電話 72 - 0332

今回の申し込みは仮申し込みで、役場は、加入希望者のとりまとめをします。加入希望者には後日、NTT西日本が説明会を開き、その後、本契約になります。

【申し込み方法】

申し込み用紙に必要事項を記入の上、役場企画振興課に申し込んでください。

申込者氏名 自宅電話番号 メールアドレス
現在加入のプロバイダー名など

申込用紙は役場企画振興課にあります。
また、役場ホームページ内でダウンロードできます。
アドレス <http://www.town.hino.tottori.jp/>

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
役場企画振興課まで (電話 72-0332)



しっかりと自分のペースで歩く

しっかりと歩いて心地よい汗を流す

ひの歩け歩け大会

新緑の中で自然に親しみながら体力づくりに励もうと、5月27日、「ひの」歩け歩け大会を根雨・日野地区で開きました。ウォーキングは、日野中学校を出発して町道下黒坂線を下り、舟場橋を通過、その後国道沿いを歩いて同学校に戻る3^{キロ}コースと、途中、林道日野金城線を通り津地地区で折り返す7^{キロ}

コースの2コース。この日参加した15人は、自分の体力にあわせてコースを選びました。

出発前には、全員が準備運動を入念にし、体をほぐしてからそれぞれのペースで歩きました。ゴールした参加者は「歩くつとでも気持ちがいいものですね」「日ごろの運動不足が解消できました」などと言いながら心地よい汗を流していました。



まずは入念に準備体操をして体をほぐす



見ごろを迎えた色鮮やかなサツキにうっとり

赤、白、ピンクのサツキが咲き誇る

第32回町さつきまつり

色鮮やかなサツキが出品される第32回町さつきまつりが、6月1日から3日までの3日間、山村開発センターで開かれ、多くの人でにぎわいました。同まつりには、町さつき研究会と盆栽研究会の会員らが、丹

精進めて育てた赤やピンク、白の色鮮やかなサツキ35点と松や紅葉など盆栽17点の計52点を出品。会場に訪れた人々は、見ごろを迎えたサツキや樹齢何百年ともいわれる立派な盆栽などに見入っていました。

また、期間中はサツキや盆栽の講習会も開かれ、参加者は同会員から手入れの方法などを教えてもらっていました。受賞者(最優秀賞のみ紹介) サツキの部「銘木の部(50年以上) 中原武雄さん(下榎) 盆栽の部「塚本正夫さん(舟場)

地域のつながりが何よりも大切

人権・同和教育学習講座

一人ひとりの人権について考え、明るいまちづくりを進めていこうと、5月31日、人権・同和教育学習講座が山村開発センターで開かれました。

この日は、病気や事故などが原因で生じる脳の機能障害「高次脳機能障害」について理解してもらおうと、同障害者家族会長森田多賀枝さんを講師に迎え

て話を聞きました。

森田さんは「障害を持った人の復職や就労は難しく、社会にはもつと理解してほしい。病気や障害があっても自分のまちで暮らしたい。それには地域の人のつながりが大切」と活動を通じて感じたことを訴えました。



真剣に話を聞く参加者たち



ずらり並んだ力作に見入る来場者

文化の輪が広がり、活動も活発に

町文化団体連絡協議会が町文化展を開く

日ごろの学習成果を発表しようとして、5月28日から30日の3日間、町文化展が山村開発センターで開かれました。

文化展は、町内の水墨画や書道、写真、陶芸など27団体による町文化団体連絡協議会（植木正枝会長）が、活動成果の発表と互いの親睦を深めようと企画。今回はその内11団体が、生け花

や墨彩画、活動報告などを記録した写真など約120点を展示。来場者はずらりと並んだ力作に感動していました。植木会長は「これを機に文化の輪が広がるとともに会員らの励みの場になればうれしいです」と話していました。

巧みなパドルさばき

日野川で中国カヌー選手権

国体中国ブロック予選を兼ねた第19回中国カヌースラローム・ワイルドウォーター選手権大会が、5月30



果敢に規制されたゲートを通る選手

日、日野川カヌーコース（下榎）で開かれ、県内外から選手が集まりました。大会は、川の上流から下り降りる速さを競うワイルドウォーター成年女子の部で、地元日野高校教諭の福本かな子さんが2年ぶり6回目の優勝。鳥取県選手の内、同男子の部で都田さん、規制されたゲートを通り抜けるスラローム成年男子の部で真島さんがともに2位に入りました。



地域住民約150人が自主的に参加

みんなの手できれいに

カワコ公園美化住民一斉作業

6月6日、黒坂カワコ公園の清掃活動が、同公園で開かれました。子どもから高齢者まで地域の人が集まり、公園内の草刈りやゴミ拾いに汗を流しました。参加者は、みんなが使う公園だからきれいにしないとねなどと話していました。



盛り上がるズンドコ節

ハッスルプレーで盛り上がる

舟場地区運動会

地域のきずなを深めようと、6月6日、舟場地区運動会が、同地区コミュニティセンターグラウンドで開かれました。ボーリング、水入れ、風船わり、花吹雪など13種目を4班に

分かれて競い合いました。なかでも、地区愛好者による「ズンドコ節」などの演技や地区内を走り抜ける「小学生マラソン」も行われ、地区内はとてにぎやかな日になりました。運動会終了後には、同会場で懇親会が行われ、地域のきずなが深まっていました。



一番長い約7^キのコースでも余裕の笑顔

こりゃ〜いい運動になるわ

奥渡地区で歩け歩け運動

ウォーキングで心地よい汗を流そうと、6月6日、奥渡歩け歩け運動が、奥渡地区で開かれました。農作業の一休み期間を利用して、健康な体づくりを目指そう

と、同地区公民館が昨年から企画。地域の子どもから高齢者まで約50人が参加しました。この日は、同公民館を出発するそれぞれ距離に応じた3コースが準備され、参加者は自分の

体力にあわせて歩きました。小原地区を通るコースは約7^キもありましたが、参加した人たちは「このぐらいの距離がちょうど良い。いい運動になるよ」と心地よい汗を流しながら笑顔で話していました。終了後には、手料理を囲み懇親会が行われました。

キャンドルとしてもしてのんびりな夜

根雨6区子ども会がエコクラブ活動

根雨6区にこにこ子ども会のメンバーたちが、6月13日、町図書館で廃油キャンドルづくり

に挑戦しました。作り方は、廃油を温めてから凝固剤と混ぜ、しんを入れた竹筒に流し込んで完成。子どもたちは、好きな香料を混ぜ合わせ

るなど工夫を凝らしながら、思い思いのキャンドルを作っていました。

この企画は、地球温暖化を防

ごうと、全国一斉に電気を消し、キャンドルの明かりの下で夜を楽しむ「ライトダウンキャンペーン」(6月20日)に参加しようとするものです。根雨6区にこにこ子ども会は、環境問題に取り組む「エコクラブ」に登録し、日ごろから積極的に活動をしています。



出来上がりに満足そうな子どもたち



ボーリングなど楽しい種目がいっぱいの運動会

参議院議員選挙

みんなそろって投票しましょう

7月11日(日) 第20回参議院議員通常選挙が行われる予定になっています。

投票日に投票できない人は、事前に期日前投票または不在者投票で済ませましょう。



投票予定日 7月11日(日)

公示予定日 6月24日(木)

期日前投票・不在者投票

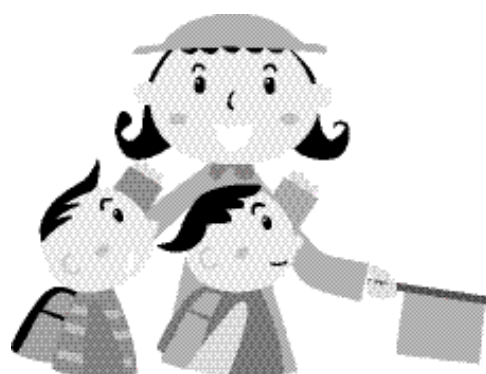
6月25日(金)～7月10日(土)

今回から公職選挙法の一部が改正され、従来の不在者投票が期日前投票に変わります。投票用紙を封筒に入れず直接投票箱に入れることができ、投票が簡単になりました。(入院中の人などは今までどおり不在者投票ができます)

投票場所、投票時間は、7月5日発行の広報ひの「おしらせ版」でお知らせします。

問合せ先

日野町選挙管理委員会(電話72 0331)



あなたも参加 私も実践

7/12 ▶ 21

夏の交通安全県民運動

7月12日(月)から21日(水)までの10日間、夏の交通安全県民運動が行われます。交通规则、マナーを守って事故のない明るいまちを目指しましょう。

次の3つが今回の重点推進事項です。日ごろから一人ひとりが交通安全について考え、交通事故防止に努めましょう。

子どもと高齢者の交通事故防止
運転者は、子どもの飛び出しや高齢歩行者、自転車に注意。
薄暮時には早めにライトを点灯しましょう。また、夜間に外出する場合は、明るい服装や反射材着用を心がけましょう。

若者の交通事故防止
速度の出し過ぎや無理な追い越しは危険です。優しい運転を心がけましょう。また、運転中は携帯電話を使用しない。

交差点での交通事故防止
交差点およびその付近では信号や周囲の状況に注意し、早めに合図を出して安全確認を確実にしましょう。



広報ひの 全国広報コンクール 総務大臣賞を受賞

「広報ひの12月号」が平成16年全国広報コンクール（日本広報協会主催）で、広報紙（町村部・1万人未満）で総務大臣賞（特選）を受賞しました。広報紙での特選は、昭和62年（17年ぶり）以来で2度目の受賞になりました。表彰式は、9月9日から開かれる第41回全国広報広聴研究大会（静岡県浜松市）で行われます。



本の読み聞かせなど日ごろの活動が評価

文部科学大臣表彰を受賞

町図書館

読書の楽しさを伝える

日野町図書館が、平成16年度子どもの読書活動優秀実践図書館「文部科学大臣表彰」を受賞し、4月23日に開かれた子ども読書活動推進フォーラムで表彰されました。

この賞は、積極的に子どもたちの読書活動について関心と理解を深め、特色ある優れた実践を行っている団体や個人を表彰するもので、今回、日野町図書館の活動成果が評価されました。

町図書館は、平成7年に新築開館以来、地元ボランティアなど地域一体となつて、子どもたちの読書活動に取り組んでいます。出前お話会や紙芝居、手づくり布本、木のおもちゃなどの貸し出しを通して、読書の楽しさを多くの子どもたちに伝えていきます。

皆さんからのお便りお待ちしております。
役場企画振興課まで

お便り

今回は、長尾昭さん（江府町久連）から日野町金持に広がる「ブナ原生林」について便りが届きましたので紹介します。



広々と続くブナ原生林

今回、日野町の朝刈林道終点から小尾根を県境尾根に向かって入山し、標高1,000m付近から出現する約7haの広さのブナ林を調査しました。

標高1,070mより県境尾根の直下1,170mまでの間に約4haの広さで原生林が存在しています。原生林の中で確認した幹周り（地上1.3m）3mを超えるブナの巨木計6本を確認。これらの推定樹齢は260年から380年ぐらいたらと思われる。なかでも幹周

りが4mを超える巨木が2本あり、大山でも少なく非常に貴重なものです。

今回の調査で、日野町内には貴重なブナ原生林が広い面積にわたり存在することが分かりました。さらに県境筋に原生林が続いている可能性があると思われるので、調査や環境の保護をしていただきたいと思います。

自然は貴重な財産です。いつまでもブナ原生林があり続けるまちであってほしいと願います。



幹周りが4mを超える巨木

きらりこの人

Vol.1

ひと

あたらしい企画がスタート。
あらゆる分野の人にスポット
を当ててインタビューします。



くごさだしげ

久古貞重さん(86歳・根雨)

「ソフトテニス(当時庭球)以外の趣味はないよ」とご本人。数多くのテニス大会に出場し、優勝61回、準優勝60回などもらった賞状は300枚以上とのこと。

自分が打ち込めるもの
それを見つけたことが大切！

庭 球(ソフトテニス)を始めたのは小学校5年生のころ。ラケットは当時のお金で4円くらいしていましたが、親に無理を言って買ってもらったことを覚えています。

近 藤さん(根雨3区)の蔵壁で、毎日、壁打ち練習をしていました。その成果があったためか、人よりボールコントロールが優れていたと思います。上達するのが楽しくて、ご飯の時間を忘れるほどやりましたよ。自分が好きなことには「つらい」とか感じませんよね。このことはテニス以外にも言えること。だから自分が打ち込めるものを探すと、出会えることが大切だと思います。それと、壁打ちがすべてではありませんが、何事も基礎がしっかりしていないといけませんね。

全 日本グランドベテラン軟式庭球大会・内閣総理大臣杯(平成3年)が一番の思い出。数百人が参加する大会で優勝しました。決勝戦の雰囲気、勝利を決めた時の喜びは最高でした。最近、膝を悪くしてテニスはしていませんが、今まで優勝61回、準優勝60回などあわせて300枚以上の賞状をもらいました。それぞれの賞状には思い出があり、わたしの大切な宝物です。

町職員人事異動

6月11日付で町職員の人事異動を行いました。(カッコ)は旧任です。

企画振興課自立政策推進室
室長 後藤一則(住民ふれあい課主幹)
主幹 垆川和之(合併協議会事務局主幹)
松村讓「企画振興課長補佐」・生田哲二「総務課主幹」は推進室を兼務
住民ふれあい課
参事 山本照夫(教育委員会参事)

健康福祉課
主幹 松本秀俊(黒坂支所主任)
黒坂支所
主幹 音田初志(健康福祉課主幹)
教育委員会
参事 松田勲(合併協議会事務局室長)
兼公民館長・併黒坂支所長

狩猟免許試験のおしらせ

平成16年度狩猟免許試験を行います。

【免許の種類】網・わな免許
第1種銃猟免許(装薬銃用)
第2種銃猟免許(空気銃用)

【試験日・会場】米子会場 7月30日(金)西部総合事務所
【申込場所】日野総合事務所 福祉保健局(電話72 0321)
【受付期間】7月12日まで
【申請書】役場農林課または福祉保健局にあります。
【狩猟者養成講習会】7月25

日(日)、県西部福祉保健局で受験予定者を対象に法令、猟具等の知識、実技の講習を行います。受講料は無料です。(受付は7月12日まで)
8月27日、午前9時から日野総合事務所で行われます。

新しい教育長紹介



田淵久之教育長(58歳・根雨)

6月4日、第4回臨時議会が開かれ、新しい教育委員に田淵久之健康福祉課参事(58歳・根雨)の選任を議会が同意。5日に、教育委員会(福田和也教育委員長)が開かれ教育長に互選されました。

この人事は、池座敬人教育長の任期満了にともなうもので、田淵久之教育長の任期は、平成16年6月5日から4年間です。

図書館まつり

8/1(日) ~ 8(日)

期間中は、楽しい催しを予定しています。ぜひお出かけください。

【主な催し】

- ・お話しの会
- ・木のおもちゃづくり
- ・布えほんづくり
- ・古雑誌お持ち帰りコーナー

問合せ先
日野町図書館
(電話) 72-1300

年齢・性別・経験の有無は問いません。参加したださる方は、気軽に図書館カウナーに声をかけてください。



ボランティアによる図書館おはなし会
毎月第4土曜日 午前11時~

図書館友の会員募集

日野町図書館では、図書館を応援し、いっしょに活動している「図書館友の会」があります。

現在、会員を募集しています。また、絵本の読み聞かせやストーリーテリング(語り)に興味のある方も募集しています。

文化センター
イベント

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月~金 午前9時30分~午後6時
土・日 午前9時~午後5時

図書館情報

カレンダー

○印が休館日です

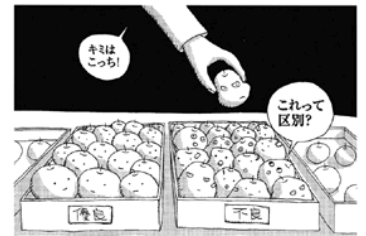
7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

展示コーナー

人権啓発パネル展

7月1日(木) ~ 7月30日(金)



鳥取県部落開放月間 7/10 ~ 8/9

図書館
おはなし会
7月24日(土)
午前11時~



第8回日野川音楽祭

6月27日(日)

【開演】午後1時

開場は30分前から

【入場料】500円

アニメ上映会

04 ポケットモンスター

7月24日(土) 2回上映

【上映時間】

午前10時30分

午後1時30分

【料金】

大人 1300円

小人 800円

親子ペア 2000円

連載

7

地球にいいことはじめよう

めざそう循環型社会

きれいな川と海を守る
水の汚れは台所で防ぐ

家庭から出る生活排水が、海や川を汚す大きな原因になっていきます。生活排水の汚れは、洗剤類や廃食用油、調理くずなどが主な原因です。こうした汚れが多いのは、台所で洗い物をするとき、油汚れや調理くずなどを無造作に流したり、洗剤をちよつと多めに使ったりするため。ささいなことのように見えますが、環境に与える影響は決して小さくありません。

例えば、大きじ1杯(15cc)のてんぷら油を台所から流した場合は、水はどのくらい汚されるのでしょうか。

この15ccの油を水で薄めて魚が住めるようにするには、300%の浴槽で15杯の水が必要になります。

わたしたちが汚した水は川や海に流れます。川や海が汚れてしまつたら、その悪影響は水資源を利用していきわたしたち自身に戻ってきます。家庭でのちよつとした工夫で、水質汚染が守れます。

- 例えばこんな工夫を
- 【調理くずを流さない】米のとぎ汁は植木や畑の散水に利用する。
 - てんぷら油などの廃油は下水に流さず、古新聞などに吸い込ませてゴミとして捨てる
 - 【洗剤は控えめに使う】油を使った食器は、洗う前に広告の紙などで油をふきとる
 - 洗剤はスポンジに直接つけず、薄め液にして使う
 - 洗剤の量を控える(使う量を多くして)
 - も汚れがよく落ちるわけではありません)



7月 ぐらしのカレンダー

JULY (文月)



1 木	
2 金	男性の健康づくり教室 開発センター 午前9時～午後1時
3 土	
4 日	
5 月	不燃・資源ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 心配ごと相談、子育て・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター 午前9時～午後3時 ----- 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時 ----- 基本健康診査、結核・肺がん検診 青年の家、本郷公会堂
6 火	基本健康診査、結核・肺がん検診 開発センター
7 水	ペットボトルの収集日(1・2・3班)
8 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
9 金	
10 土	出雲街道根雨宿一番館土曜夜市 根雨宿一番館 午後6時30分～午後9時
11 日	参議院通常選挙投票予定日(6月24日公示)
12 月	不燃・資源ゴミの収集日(根雨・日野地区) ----- 健康相談 町公民館 午前9時～午前10時
13 火	古紙の収集日(黒坂・菅福地区) ----- 乳児健診 開発センター 受付=午後1時30分～午後2時
14 水	ペットボトルの収集日(4・5・6班)
15 木	基本健康診査、結核・肺がん検診 開発センター
16 金	
17 土	行政相談 町公民館 午前9時～午前12時 ----- ねう祭り 根雨街部 午後6時～(大雨中止)

18 日	第59回日野郡民総合体育大会 会場=日野中学校
19 月	可燃ごみは通常どおり収集します(海の日)
20 火	不燃粗大ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- ツベルクリン反応検査 開発センター 受付=午後1時15分～午後1時30分
21 水	
22 木	B C G予防接種 開発センター 受付=午後1時15分～午後1時30分 ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所
23 金	
24 土	出雲街道根雨宿一番館土曜夜市 根雨宿一番館 午後6時30分～午後9時
25 日	鵜の池マラソン大会 鵜の池湖畔 スタート=午前10時30分
26 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
27 火	不燃粗大ゴミの収集日(根雨・日野地区) ----- すくすく親子教室 黒坂保育所 午前9時30分～午前11時 内容=保育所で遊ぼう
28 水	ペットボトルの収集日(7・8・9班)
29 木	
30 金	
31 土	

鳥取の魅力がたくさん情報誌

鳥取NOW(第62号)発売中

特集「不思議の山・三徳山」ほか

1冊300円

最寄の書店または役場企画振興課で
購入できます。



8月2日(月)

税の納期限

- ・固定資産税2期分
- ・国民健康保険税1期分
- ・介護保険料1期分

直通電話	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332
	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555
	根雨保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225

住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
公民館	74 0212	下榎集会所	72 1191
夜間・休日	72 0331		

自然の中ですくすく育つ

久住放牧場に黒毛和牛を放牧

標高550mにある久住放牧場に、5月21日、黒毛和牛12頭が放牧されました。日野町は、昭和40年前半までは黒毛和牛の産地として知られていました。今では、飼育農家が34戸に減ってはいますが、良質の和牛を育てようと意欲的に取り組んでいます。牛たちは、10月末まで自然の中で育ち、ひと回り大きくなって、飼主の元へ帰って行きます。



雄大な自然の中で、たくましく育つ牛たち

日野町食生活改善推進協議会の
会員さんオススメ料理⑦



▶エネルギー 134kcal ▶塩分 0.1g

カルシウムがいっぱい!

人参ヨーグルトゼリー

【材料】6~8人分

ニンジン (250g)、オレンジジュース (100cc)
ヨーグルト (500g)、水 (100cc)、砂糖 (150g)
ゼラチン (15g)



【作り方】

- ①ゼラチンは分量の水に浸しておく。湯せん(または約80℃のお湯で溶かす)にかけて溶かし、砂糖を加えて冷やす。
- ②ニンジンは、薄く切り、オレンジジュース、水(100cc)といっしょにして、とろ火で煮る。そして、ミキサーにかける。
- ③②の中にヨーグルトを加えよく混ぜる。
- ④③の中にゼラチンを加えてよく混ぜ合わせ、型に流し入れて冷やし固める。

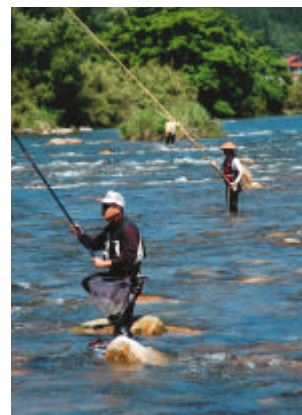
待ちに待った解禁日

6月1日、日野川
アユ漁が解禁



今年も元気な日野川のアユ

夏の風物詩、日野川のアユ漁が6月1日に解禁。県内外から多く釣り人たちが、竿を出しています。解禁日以降の釣果は今一つですが、アユ漁はこれから本番を迎えます。



日野川で竿を出す太公望

オシドリ

にゅるす

VOL. 76

皆さんご存知でしょうか

オシドリのいないこの時季、観察小屋の周りは「ホタルの里」に大変身します。

カジカが歌いホタルが乱舞する日野川。「いい所だしよ。自然がいっぱい、大好きだよ」みんなでふるさとを自慢しましょう。

【お願い】クズ米、古米などありましたらオシドリのエサにください。

連絡先 オシドリグループ事務局
森田 (72 0271)



「ヨツ、二人。お幸せに」
撮影 西 宣和さん(呉市)

わたしの町

(前月比)

5月31日現在
人口 4,421人 (-4)
男性 2,085人 (-1)
女性 2,336人 (-3)
世帯 1,563戸 (+1)

届出 5月11日~6月10日 敬称略

赤ちゃん誕生

おめでとございます

(出生児) (保護者)(性別)(住所)
5月
山田 拓弥 勝則・かおり 男の子 黒坂
石田 梨央 大介・絵里 女の子 下榎

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)
5月
松田トミ子 87歳 根雨
田口寛司 68歳 根雨



編集後記 広報ひのが、全国広報コンクール
の広報紙(1万人未満町村の部)で特選。受賞
を知った瞬間、目を閉じると広報発行に携わっ
ていたいた人たちの顔が浮かび、ちよっぴり
涙が。取材にご協力いただきました関係者の
方、表紙の絵を書いていただいたOさん、住民
の皆さん、そして家族に感謝、感謝■広報の記
事がまちのすべてではなく、担当者が取材して
いないだけで、いっしょけんめい活動されて
いる方がたくさんおられます。全員を一度に紹
介することは無理ですが、少しずつでも取材し
て取り上げていきたいと思えます■合併問題も
終止符、わがまちは単独の道を歩
みます。自分たちのまちは自分
たちの手で。すばらしいま
ちにしていきたい。音田